

アリッサム クリアクリスタル・シリーズ

学名: *Lobularia maritima*

種子粒数の目安: 2,500-3,100 粒/グラム

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.5 から 6.0 の範囲、また EC 値は 0.75mmhos/cm(2:1)以下が適正

播種

マルチペレット種子による播種、あるいはフィルムコート種子の場合は1セルあたり5、6粒ほどで多粒播きするとよい結果が得られる。マルチペレット種子を用いる場合は、コーティングパウダーの融解のために十分な保湿が必要なので、播種時にパーミキュライトで厚めに覆土する。とくに湿度の低い条件で播種する場合はきわめて重要な要件となる

プラグトレイ

(多粒播きが前提なので)200あるいは288穴前後のトレイサイズが最も管理しやすい

ステージ1 - 発芽には3から4日要する

温度: 発芽温度は 21-22°Cが適正

光条件: 発芽時は明るい方がよい結果が得られる

湿度: 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95-97%に維持する。過湿条件にならないように注意が必要。プラグ生産で高過湿の状態が続くと病気が入りやすくなる

ステージ2

温度: 昼間は 18-24°C、夜間は 16-18°Cが適正

光条件: ステージ2、3では26,900ルクス(2,500 f.c.)まで光条件を上げてよい

水分: 培地の水分は、中くらい(level 3)からやや湿潤(level 4)で維持する

肥料: レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7ms/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える。培地は、EC 値 0.7ms/cm(2:1)以下で維持する

ステージ3

温度: 昼間は 18-24°C、夜間は 13-15°Cが適正

光条件: ステージ2、3では26,900ルクス(2,500 f.c.)まで光条件を上げてよい

水分: ステージ3、4では培地の条件を中くらい(level 3)で維持する

肥料: レート 2(100-175ppm(N)、EC 値が 0.7-1.2ms/cm)の肥料を与える。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 0.7-1.0ms/cm (2:1)を維持する

ステージ4

温度: 昼間は 15-21°Cが、夜間は 13-15°Cが適正

光条件: 温度条件が維持されるなら、53,800ルクス(5,000 f.c.)まで光条件を上げてよい

肥料: 上記ステージ3と同じ

矮化剤: この段階では不要

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

鉢上げは、カットパックから9cm、あるいは10.5cmのポットが適当

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。土壌 pH は 5.8 から 6.2 が適正、培地の初期の養分量は中庸

温度

昼間: 15-24°C

夜間: 13-15°C

光条件

健康な株に育てるため、適切な温度管理が可能であれば、できるだけ光(日照)にあてるようにする。実際に植えつける場合は、クリアクリスタルは日当たりのよい場所に定植しなければなりません。ただし、小売店で販売する際は株の老化を防ぐため適度に影に入る場所が望ましいでしょう

肥料

移植の後1週たってから、リン酸分の低い硝酸態の肥料をレート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)で与える。株の生育と培地の pH の状況を見ながら、必要に応じてアンモニア態と硝酸態とのバランスを調整する。pH は 5.8-6.2 を、また EC 値は 1.2-1.5mmhos/cm の範囲を維持する。肥料分が過剰になると大葉や葉に斑点が現れ、また花数が少なくなることがある。一方で少なすぎても葉が小さかったり、株が固くなったり下葉が黄色化することがあるので注意が必要

かん水

水分が極端に多かったり少なかったりしないように、最適の条件を維持する。また頭上かん水は極力避ける。病気の発生を防ぐ観点からも、かん水は葉が乾いたときに手早く行うことが肝心

矮化剤(PGR)

矮化剤(生長制御剤)は必ずしも必要ではない。もし必要であれば、肥料の与え方の最適化や昼間と夜間の温度差を利用することで調整は可能である

平均的な生産期間

播種から移植まで: 約 4 週(200 から 288 穴前後のトレイ)

移植から出荷(開花)まで: 作型によって 4 から 6 週

播種から出荷(開花)まで: 作型によって 8 から 10 週

病虫害について

病気: ウドンコ病の報告例が多い。また、プラグ生産中は立ち枯れ等を防止する点からも定期的な殺菌剤の散布が望ましい。アリッサムに銅剤系の殺菌剤を用いると葉害を起こすので避けるべきである

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤を用いる場合は、必ずガイドラインによる使用方法を遵守しましょう。当該の規定や条例のもとで、注意書きをよく読み正しく使用することが、使用者の責務です

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。

630 231-1400
panamseed.com

© 2008 Ball Horticultural Company PAS08031-Eng

™ および®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Ball Horticultural Company の登録商標です
この栽培資料は、2008 年に Ball Horticultural Company によって作成された原版を許可の下で日本語に
翻訳しており、一部に省略等があります

PanAmericanSeed®